



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

アルジェリア：ブーテフリカ大統領が2014年大統領選挙に立候補

26日、与党・民族解放戦線（FLN）のアンマール・サアダーニー幹事長はブリダ県で行った演説で、FLNはブーテフリカ大統領を2014年4月実施予定の大統領選挙における同党候補者に決定した旨を発表した。ブーテフリカ大統領は、1999年に初当選し、現在3期目である。2008年の憲法改正で再選禁止条項が削除されたため（第74条）、4期目に向けた立候補は可能である。任期は5年。なお、大統領本人による立候補の発表は行われていない。

今年4月、同大統領は軽い脳卒中のためパリの病院に入院し、7月16日にアルジェリアに帰国した。帰国後も体調が優れないため、公務は限定的である。このように、大統領の体調に懸念が残る中での今次発表となった。これは、ブーテフリカ大統領に対抗するグループが与党や治安当局幹部に存在するなか、同大統領の権力基盤を維持・強化するための決定であったと考えられる。

一方、野党勢力では統一候補の試みが行われているが、合意は難航している。ブーテフリカ大統領の立候補が表明されたことで、統一候補の試みはさらに推進力を失うだろうとの分析もある。

（金谷研究員）